

◇ 国 語

国 7-1～国 7-17 まで 17 ページあります。

第一問 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

「共感」という言葉は、ふだん、「人の不幸に同情する」、「人の悲しみにともに涙する」といった、感情の動きについて述べるときによく使われます。私たちが「共感性の高い人」でイメージするのは、他者の心情に寄り添い相手を援助する、センサーで多感な人のことでしょう。たしかに、このようなイメージは人間の共感の特徴を表す代表例だと言えます。

しかし、近年の研究では、共感とは、こうした「思いやり」だけでなく身体模倣や情動の伝染などを含む重層的なシステム (empathetic systems) であり、その一部はヒト以外の動物たちにも共有されているのではないかと指摘されています。

現在、共感に関するケントウは、さまざまな学問分野にまたがるホットな研究トピックになっています。たとえば我が国でも、動物に広く認められる原始的な共感からヒト特有の高次の共感に至るまで、多様な「共感」のあり方を、分子、神経回路、認知、行動の専門家たちが、文理の壁を超えて協力して研究する大型プロジェクトが動いています。

相手がニコツとすると、ついこちらも微笑してしまう経験はおなじみのものです。この現象は表情模倣 (facial mimicry) と呼ばれ、笑顔や喜びだけでなく、驚き、悲しみ、怒り、嫌悪、恐れなどの基礎的な感情表出全般について、広く起こることが分かっています。

表情模倣は、相手の表情が動き始めてから〇・五秒くらいのうちに立ち上がる、素早く自動的で、反射に近い反応です。この反応は生まれたばかりの赤ちゃんの段階でも見られること、また、マカクザルなどの霊長類にも類似の現象が見られることから、進化的に組み込まれた生得的反応だと考えられています。

同様の同期・模倣現象は、表情だけでなく、身体の動作や姿勢、話すスピード、声の高さにも認められ(早口や高い声が移る)、感覚・知覚と動作を自動的に協調させる脳の仕組みに基盤をもつとされています。

たとえば、ちょうど二〇世紀の終わりごろ、神経科学者のリゾラッティらはマカクザルの神経細胞(ニューロン)の電気活動を調べていたところ、興味深い事実を発見しました。マカクザルが手を伸ばしてエサを取る際に活動する神経細胞の一部が、実

験者がエサを拾うのを見た時にも反応したのです。マカクザル自身が行為をする場合だけでなく、他者が同じ行為をするのをただ見ている場合にも、まるで鏡に映っているかのように同じ細胞が同様の電気活動を示すことから、リゾラッティらは、これらの神経細胞をミラーニューロン (mirror neuron) と名づけました。

人のリアルタイムの神経活動を細胞単位で測定することは倫理的にできませんが、画像の撮像 (脳イメージング) による脳活動の研究から、人にも同じようなミラーシステムがあることが示唆されています。

私たちが相手と相互作用するときには、意識するとしなやかにかかわらず、身体・神経レベルでの同期化がまるでさざ波のように起こっているようです。高校の物理で習った、二つの音叉の片方を鳴らすともう一方の音叉も鳴り始める「共鳴現象」を想起させます。

身体・神経レベルでの共振・同期のほとんどは無意識的・自動的に起きる現象ですが、「他者の心を理解する」うえでも重要な基盤となっている可能性が指摘されています。

たとえば、ミラーシステムは、相手が「目的志向的」な動作、ア、食物に手を伸ばすとか、障害物をどけるなどの「何らかの目標に向けられた意味のある」動作を見る時には反応しますが、「目標のはっきりしない無意味な」動作を見る時には反応しません。また、私たちの研究からも、人物の顔動画を見ている実験参加者に、「その人物がどのような気持ちか」をスイトンするように教示した場合には、「年齢・体型などの身体属性」を当てるように教示した場合よりも、動画人物の喜び・驚き・怒り・悲しみなどの表情表出が、自然に模倣されやすいことが明らかになりました。

言い方を換えると、ヒトには、自分の身体を媒体に「相手の動作や表情をコピーする」ことで、相手の意図や感情などの「心的状態」を理解しようとするメカニズム—身体化された認知 (embodied cognition) と呼ばれます—が備わっているようです。このような無意識の同期プロセスは、「共感性」のもっとも原初的なレベルに位置すると言えそうです。

身体が同期するように、情動経験についても同期・増幅現象が見られます。誰かが泣いていると自分も悲しくなってもらい泣きしてしまったり、一緒に過ごしている友人の笑いや興奮が自分にも伝染したりというようなマイクロな例から、集団ヒステリ

ーやパニックのようなマクロな例に至るまで、私たちは他者の情動状態とムエン^①でいることがなかなかできません。この現象は情動伝染 (emotional contagion) と呼ばれ、(中略) 霊長類はもちろん、ネズミやイヌを含む群居性の動物たちの間に広く認められます。

イ、「痛みの伝染」を考えてみましょう。私たちは、他の人が注射されているのを見ると、しばしば自分も痛いような気分になります。生物学者のラングフォードやモギルらは、マウスを対象に次のような実験を行いました。この実験では、マウスに、酢酸やホルマリンの注射による痛み刺激を与えました。これらの刺激は、マウスにそれぞれ、急性の疼痛、持続性の疼痛を引き起こすことが分かっています。実験では、痛み刺激を単独個体だけに与える「単独条件」、ペアにした二個体の一方だけに与える「一方条件」、ペアの二個体とともに与える「両方条件」の三つを設定し、マウスの痛み表出(身をよじる、舐める)の程度を比較しました。

さて結果です。マウスの痛み表出は、単独条件や一方条件に比べて、ペア二個体が揃って痛み刺激を与えられる両方条件で大きくなっていました。つまり、互いの痛み表出を見ることで、ペア内で痛みがピンポンされる(社会的に増幅される)ことが分かりました。^②さらに社会的増幅は、ペアが見知らぬ二個体から成る場合よりも、同じケージに住む仲間や兄弟・姉妹から構成される場合にとくに顕著だったのです。

ヒトについても同じようなデータが得られています。脳科学者のシンガーらは、カップル(恋人同士)に参加してもらって、次のような実験を行いました。カップルのうち、女性の脳活動を脳イメージング (fMRI) により計測し、女性本人に痛み刺激を与えている場合と、男性パートナーに痛み刺激を与えているのを女性が見ている場合とを比較しました。

女性本人が痛みを伴う電気刺激を手にする場合には、痛み回路 (pain matrix) と呼ばれている脳部位、具体的には、前帯状皮質 (ACC: anterior cingulate cortex) や前島などが活動していました。そして、男性パートナーが電気刺激を受けるのを見ただけの場合にも、同じ痛み回路が賦活することが分かりました。

甲

という結果です。後続の研究から、このような「痛みの伝染」は、仲間や好意の

もてる相手に対して起こる一方、対人場面で不公正に振る舞う者、好感のもてない相手には起こりにくいことが分かっています。さまざまな動物種で広く認められる情動伝染は進化的・神経的な共通基盤をもつと考えられますが、マウスであれヒトであれ、「伝染の起きる自然な境界・範囲は仲間や血縁者」という知見はとても重要です。

(中略)

痛みの伝染は、しばしば相手を実際に助ける行為につながります。そして「相手を思いやる利他行為」こそが、私たちがふつう共感 (empathy) という言葉でイメージし、またとても人間的に思われる行動です。ウ最近の動物行動学の研究から、このレベルの共感もヒト以外の哺乳類に広く見られることが指摘されています。

たとえば、霊長類学者のドウ・ヴァールは、『共感の時代へ』と題する著作の中で、血縁関係のないチンパンジーたちが死の床にある仲間に対し、柔らかいおがくずでベッドを整えたという、印象的なエピソードを紹介しています。クキョウにある仲間を助けようとする (あるいは仲間に寄り添おうとする) 行動は、ゾウやイルカなどの大型哺乳類でも見られますが、最近の実験から、ラットにも同様の行動が存在する事例が報告されています。

脳科学者のドセティらによる実験では、ラットのペアの一方が透明のチューブに閉じ込められました。外にいるラットは、閉じ込められた仲間を解放するためにチューブを開けるやり方を、素早く自主的に学習しました。それだけではありません。「相手のチューブを開けるか、チョコレートの入ったチューブを開けるか」というジレンマ状態に置かれた場合にも、仲間を助けることを高い確率で優先したのです。「仲間への思いやり」と解釈できる行動が、ヒトを含む霊長類とは進化の系統樹でかなり距離のある、げっ歯類でも示されたこととなります。

(亀田達也『モラルの起源——実験社会科学からの問い』による)

問一 傍線部A・B・C・D・Eと同じ漢字を含むものを、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選べ。

A センサイ

- ① 作業をサイブン化して任せる
- ② 多額のフサイを抱える
- ③ 岩山を火薬でフンサイする
- ④ クレジットカードでケツサイする
- ⑤ 山から鉄鉱石をサイクツする

1

B ケントウ

- ① 特殊部隊をハケンする
- ② 可能な範囲でコウケンする
- ③ ケンキョな態度を示す
- ④ 世界的名作にヒケンする作品
- ⑤ 容疑者としてケンキョする

2

C スイロン

- ① 技術のスイを集めた新製品
- ② 経済がスイタイする
- ③ 使命をスイコウする
- ④ 人口のスイイを調べる
- ⑤ 夕食をジスイでまかなう

3

D ムエン

- ① エンマンに解決する
- ② エンガワで将棋をさす
- ③ 鉄道のエンセンに住む
- ④ エンメイ治療を続ける
- ⑤ エンテン下の運動を控える

4

E クキョウ

- ① 物語がカキョウに入る
- ② ソツキョウで音楽を奏でる
- ③ 業界がカツキョウを呈する
- ④ 政策の恩恵をキョウジュする
- ⑤ 都会のキョウシヨウな住宅

5

問二 空欄 ・ ・ に入る最も適当なものを、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選べ。

- ① けれども
- ④ さて

- ② このように
- ⑤ つまり

③ さらに

- ① そのうえ
- ④ しかし

- ② たとえば
- ⑤ なぜなら

③ 要するに

- ① したがって
- ④ しかし

- ② つまり
- ⑤ さて

③ とりわけ

問三 傍線部 (a) の類義語、(b) の対義語として最も適当なものを、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選べ。

(a) 生得的

- ① 先天的
- ④ 獲得的

- ② 生産的
- ⑤ 後天的

③ 習得的

(b) 利他

- ① 功利
- ④ 営利

- ② 利己
- ⑤ 利子

③ 利害

問四 傍線部(一)「身体・神経レベルでの共振・同期のほとんどは無意識的・自動的に起きる現象ですが、「他者の心を理解する」うえでも重要な基盤となっている」とは、どういうことか。最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選べ。

11

- ①ヒトは、人物の顔動画を見ると無意識的・自動的に「年齢・体型などの身体属性」を当てようとする傾向があるということ。
- ②自分の身体で他者の動作や表情をコピーすることによって、他者の心的状態を理解しようとするしくみがあるということ。
- ③無意識的・自動的に起きる現象は、「目的志向的」ではなく「目標のはつきりしない無意味な」動作になりがちだということ。
- ④ヒトは「年齢・体型などの身体属性」を当てようとするよりも、人物の気持ちを当ててる方に優れた能力を持つということ。

問五 傍線部(二)「さらに社会的増幅は、ペアが見知らぬ二個体から成る場合よりも、同じケージに住む仲間や兄弟・姉妹から構成される場合によく顕著だったのです」から、筆者はどのようなことが言えると述べているか。最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選べ。

12

- ①痛みの伝染はマウスの個体の数が多いほど起きやすいということ。
- ②痛みの伝染は二個体とも痛みを与えた方が起きやすいということ。
- ③痛みの伝染がおきる自然な範囲は仲間や血縁者であるということ。
- ④痛みの伝染はペアの二個体の関係性にかかわらず起きるということ。

問六 空欄

甲

に入る最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選べ。

13

- ①好感のもてない他人の痛みも、自分の痛みと同様に神経的に処理される
- ②好感のもてない他人が痛みを経験すると、神経的に快楽として処理される
- ③他人が経験した痛みは、自分の痛みとは神経的に異なる処理をされる
- ④他人が経験した痛みも、自分の痛みと同じように神経的に処理される

問七 傍線部(三)「ジレンマ状態に置かれた場合にも、仲間を助けることを高い確率で優先した」とはどのようなことか。最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選べ。

14

- ①美味しいエサにありつくチャンスが提示されたため、仲間の利益になることをしたということ。
- ②美味しいエサにありつけるチャンスが提示されると、仲間より自分の利益を優先するということ。
- ③自分が美味しいエサにありつく選択肢を捨てても、仲間の利益になることをしたということ。
- ④自分が美味しいエサにありつく選択肢は確保しつつ、仲間の利益になることもしたということ。

問八 本文の内容と合致するものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

- ① 共感とは重層的なシステムであり、ヒト以外の動物にも一部が共有されていると言われている。
- ② 表情模倣は、ヒトが大人になるにしたがって、素早く自動的に反射に近い反応に変化する。
- ③ 人のリアルタイムの神経活動を細胞単位で測定したところ、ミラーシステムの存在が示唆された。
- ④ 情動経験の同期・増幅のマクロな例として、友人の笑いや興奮が自分へも伝染することが挙げられる。
- ⑤ 仲間を助けようとする行動は、チンパンジーなど霊長類や大型哺乳類だけに見られる特徴である。

第二問 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

二〇〇五年六月七日、私は、紀伊国屋ホールで井上ひさし作『国語元年』を楽しみました。文部官僚南郷清之輔なんこうせいすけのすけを演じる佐藤B作をはじめ、それぞれの人物を演じる俳優たちの熱演に魅せられ、一見荒唐無稽こうとうむけいに思える話が真実味を帯び、最後は劇場で涙してしまいました。

時は明治時代。日本全国に通じる話し言葉を制定するための案を練るようという命令を受けた文部官僚南郷清之輔は、一族郎党を巻き込んで「全国統一話し言葉」なるものを考えようと**四苦八苦**。でも、何回挑戦してもうまくいかず、辞職に追い込まれ、精神を病んで終わる。哀れな末路に、言葉をあつかう人間に共通する悲哀を感じ、私は涙が止まらなかったのです。

全国統一話し言葉の制定に寝食を忘れて没頭する南郷清之輔に対して、問題を冷静に見ている人物が登場しています。若林虎三郎という士族しぞのなれの果てらしき人物。彼は、こんな手紙を清之輔に出している。

つらつら思うに、万人の使用する言葉を、個人の力で改革せんとするはもとより不可能事にて御座候。万人のものは万人の力を集めて改革するが最上の策に御座候。そのためには一人一人が己が言葉の質を僅かでも高めて行く他、手段は一切これあるまじと思ひ居候。己が言葉の質を僅かでも高めたる日本人が千人寄り、万人集えば、やがてそこに理想の全国統一話し言葉が自然に誕生するは、理の当然に御座候。

『国語元年』中公文庫

これは、あるべき理想の姿です。実際には、国の政策によって言葉の問題が処理されてしまうことがあります。でも、作者の井上ひさしさんが訴えたかったのは、言葉の問題は、文部官僚が考え出した案を上から押し付けるだけでは解決しない。国民一人一人が考え実行してはじめて解決できる、ということだと察せられます。というのは、全国統一話し言葉の制定を文部官僚の力で成し遂げようとした南郷清之輔が**シツイ**のうちに終わるといふ結末を与えているのですから。言葉の問題は、みんなに考えてもらおう問題なのです。

けれど、言葉そのものは、実に地味な存在。言葉によってつむぎ出された文学や思想は、人の注目を引きやすく、拍手喝采かっさいを浴びることもあります。それに比べて、文学や思想を生み出した言葉そのものが派手派手しく脚光を浴びたりすることはありません。言葉は、織物を作り出すための糸に過ぎません。

ところが、最近とくに、素材である日本語が注目を浴びています。なぜでしょうか？ 素材である言葉が激しく変化している時期だからです。古い言葉や表現が急速に忘れられつつあります。日本の伝統的な言葉や表現が次々に失われているのです。それが、日本の年配者の危機感を煽っています。日本語をもっとしっかり教えなくては、という思いが、ナショナルリズム的な昨今の風潮に後押しされて、前面に出てきている時期なのです。

テレビを見ても、日本語のクイズばかりです。つい最近も、スキー場で楽しむ若者たちにこんな穴埋めことばのクイズが出されてきました。

「濡れ手で□」。若者は、「濡れ手で洗濯」などと答えている。濡れた手で洗濯するなという意味ではないかと言う。「濡れ手で食うな」と答えた若者もいる。手を洗っても、濡れたままで食べてはいけないという意味ではないかと当人は答える。「濡れ手で粟」と正解を教えてもらっても、「粟」を「くり」と読んで腑に落ちない顔をしている。

まさに、日本語の危機。そう思えます。こうして、日本語は注目され、今ブームになっているのです。

ところで、日本語の歴史を知ることには、どういう意味があるのでしょうか？ 日本語の将来は、日本語を話す人々すべての問題です。日本語を生かすも殺すも、日本語を話す人々の考え方にかかっています。敬語をどうするのか？ 「言葉の乱れ」をどう考えるべきなのか？ これからの日本語をどういう方向に変えていくべきなのか？ 日本語を使っている人々一人一人が、考えてみるべき問題です。これらの問題を正しく考えるためには、日本語のセイスイの歴史を知ることが必要です。

あなたは、今話している日本語がなくなったらどうなるかという問題を考えてみたことがあるでしょうか？ たとえば、英語だけで用をたさなくてはいけない状態になったら？ むろん、権力で強要されれば、長い時間をかけて、英語だけを話すようになるでしょう。でも、英語という糸で織り成される文化は、日本語という糸でつむぎ出されていた織物とは全く異なっているのです。たとえば、日本語には擬音語・擬態語が豊かに存在します。けれども、英語にはあまりありません。すると、こんなことが起こります。

鳩子さんは、そんな三好さんをジロリと流し見た。

(源氏鶏太『御苦労さん』)

これは、日本語の文です。これを英語で言おうとすると、「ジロリ」という ア がうまく表現できないのです。藤田孝・秋保慎一編の辞典では、この箇所をこう翻訳しています。

「鳩子は彼に鋭い横目を向けた」といった意味の英語になっています。これでは「ジロリ」の持っている、眼球を左から右へあるいは右から左へ移動する動きが、失われてしまいます。「ジロリ」は、単に「鋭い横目」という抽象的な言葉では表せないような、イ 的で感覚的な意味を持つ言葉です。つまり、日本語で織り成されていた織物のもっていた独特の風合いがなくなってしまうのです。母国語を失うということは、物の考え方、感じ方を失うということ。大げさに言えば、

イ 的で感覚的な日本文化が消えているのです。もちろんそれでもいいとおっしゃる方もいらっしゃるかもしれませんが。そういう方は、是非とも次の問題も考えてみてください。世界中の言語がすべて英語だけに統一されてしまったとします。すると、どの地域からも英語という糸で織り成される織物しか出来てきません。それぞれの地域のもっていた独特の風合いが失われ、どの地域に行っても、どこに住んでも、同じ織物しかないのです。ということは、異なる織物同士の間で競争したり、刺激しあったりすることがないということ。人は、努力をしなくなります。人類の文化そのものが瘦せて甲廃れていきます。イチゲンカの恐ろしいところです。

人類の文化が発展するのは、さまざまな素材があり、その素材によって織り成される文化が違うからこそなのです。違う文化同士が接触し、互いに刺激しあい、総体として人間の文化が発展する。

^④ 日本語という素材を大切にし、いつくしむ心が、結局は人類を豊かにするわけです。国家主義ではありません。それぞれが自らの創意工夫を凝らして作りだした文化を大切にしようことこそ、人類を救うと私は信じているのです。そして、この認識を持つていけば、他民族に自国の言語を強要したりするようなおろかな真似をしないと信じているのです。

日本語の歴史を知ることとは、日本語の将来を考え、日本語によってつむぎ出された文化そのものを大事にし、後世に伝えていく精神を乙培つていくのに役立ちます。私たち人間は、よって立つところのウ がなければ、文化をつむぎ出せないのです。

(山口仲美『日本語の歴史』による)

問一 傍線部A・B・Cと同じ漢字を使うものを、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選べ。

A シツ|イ

- ① 全力シツソウする
- ② 自信をソウシツする
- ③ 作家としてのシツツがある
- ④ 大臣のシツムシツに入る
- ⑤ シツチを好む植物

16

B セ|イスイ

- ① リユウセ|イをきわめた都
- ② セ|イミツに測定する
- ③ コクセ|イ調査を実施する
- ④ セ|イスイに魚棲^すまず
- ⑤ セ|イオンな日々を過ごす

17

C イチゲ|ンカ

- ① ゲ|ンエイにおびえる
- ② ゲ|ンカに答える
- ③ 能力のゲ|ンカイを超える
- ④ 新しいゲ|ンゴウは令和だ
- ⑤ 父にはイゲ|ンがあつた

18

問二 傍線部甲・乙の読みとして正しいものを、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選べ。

甲 糜|れて

- ① あ
- ② か
- ③ くず
- ④ すた
- ⑤ やぶ

19

乙 培|つて

- ① ね
- ② つく
- ③ まも
- ④ つちか
- ⑤ やしな

20

問三 空欄 ア・イ・ウ に入る最も適当なものを、次の各群の①～④の中からそれぞれ一つずつ選べ

(イ は二箇所あるが同じものが入る)。

ア

① 擬音語

② 擬態語

③ 翻訳語

④ 外来語

2 1

イ

① 空想

② 具体

③ 多義

④ 暗示

2 2

ウ

① 国家

② 精神

③ 日本語

④ 母国語

2 3

問四 傍線部 (a)・(b)・(c) の、文中における意味として、最も適当なものを、次の各群の①～④の中からそれぞれ一つずつ選べ。

(a) 荒唐無稽

① 不条理であるが面白いこと

② 大ざっぱで緻密性に欠けること

③ でたらめで全く根拠がないこと

④ 空想的でスケールが大きいこと

2 4

(b) 四苦八苦

①さんざん苦勞すること

②あきらめずやり遂げること

③あらゆる努力を惜しまないこと

④妙案を数多く提案すること

25

(c) なれの果て

①よくも悪くも人生の晩年をいう

②甘んじて受け入れざるを得ない状況をいう

③身分や生活状況が落ちぶれてしまった結果をいう

④異なる生活にすっかり慣れてしまった様子をいう

26

問五

お姉さんの話を聞いたA子さんは、傍線部(一)「濡れ手で粟」と同じように「それこそ濡れ手で粟ね」と相槌あいつちを打った。
A子さんが、そのように相槌を打つのに最もふさわしい話を、次の①～④の中から一つ選べ。

27

①お隣の柿が、今年は豊作ね。でも、くれるわけないわね。

②お父さんが遺産で相続した株が上昇し続けているらしいわよ。

③お母さんたら、栗餅を冷蔵庫にしまい忘れて腐らせてしまったみたい。

④毎日、丁寧ていねいに新聞を読むことにしたら、国語の点数が上がってきたわ。

問六 傍線部(二)「腑に落ちない顔」とはどんな顔か。同じ意味で使われているものを、次の①～④の中から一つ選べ。

28

- ① 怪訝な顔
- ② 浮かぬ顔
- ③ 涼しい顔
- ④ 何食わぬ顔

問七 傍線部(三)「日本語は注目され、今ブームになっているのです」とあるが、筆者はなぜ日本語が今ブームになっていると考えているのか。その理由として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選べ。

29

- ① 言葉の問題はとても重要であるから。
- ② 日本語のクイズ番組の視聴率がよいから。
- ③ ナシヨナリズム的風潮が年々強くなってきたから。
- ④ 伝統的な日本語の表現が失われてゆくという危機感から。

(問題は次のページにもあります)

問八 傍線部(四)「日本語という素材を大切にし、いつくしむ心が、結局は人類を豊かにする」とあるが、その説明として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選べ。

30

①現代においては、日本語は危機的状況にある。言葉の問題は、国民ひとりひとりが真剣に考えて実行してゆかなければ解決しない。日本語を大切に初めて、豊かな国風文化が生まれ出るのである。

②最近、どこの国においても、言葉は激しく変化し、伝統的な表現が失われてゆく傾向が見られる。各国が国語の教育を徹底させて、自国語に誇りを持ち、後世に伝えてゆくようにしなければ、豊かな文化の発展はない。

③様々な言語はそれぞれの地域の住人の独特の物の考え方や感じ方を表している。従って、自らの言語・文化を大切にすると共に、他の言語・文化を尊重することで豊かな文化が共存する多文化社会となるのである。

④日本語は世界のあらゆる言語の中で最も表現が豊かである。例えば、英語に訳すことが出来ない感覚的な語を多く持っている。そのような日本語の良さを世界に広めてゆくことが、人類全体の文化を刺激し発展させる事につながるのである。